

連載

もう、悩まない！ 『石原健の HOTEL LOVERS』

#11

オリオンホテル 那覇
取締役 総支配人
藤井 幸氏

第11回目のゲストは、オリオンビール(株)のグループ会社で、オリオンホテル 那覇の取締役 総支配人の藤井幸氏。藤井氏は2023年11月に開業した同ホテルで、オリオンビールが培ってきたレガシーを継承するとともに、ビールの新しい価値、楽しみ方を提案する場としてホテルを運営する。



オリオンホテル 那覇
取締役 総支配人
藤井 幸氏

IT 業界とホテル業界で、 人脈を築く

石原 藤井 GM との出会いは、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルですね。藤井さんがレベニューマネージャーで、私が販売担当部長の時に、一緒に中国の海南島に二人で出張したことも良き思い出です。さて、最初にホテリエになったきっかけを教えてください。

藤井 出身は岩手県花巻市、千葉大学 法経学部 法学科を卒業しまし

た。当時は観光業界には全く興味がなく、広告代理店かそれに関連する仕事をしたかったので、最初の就職先は商業印刷も手掛ける大日本印刷を選びました。希望とはまったく違うエレクトロニクス部門配属でしたが、Windows95の発売直後で電子部品の需要が急増しており、当時としては珍しく1人1台PCが支給された恵まれた職場環境でした。インターネットはまだダイヤルアップの時代、スピードは遅かったけれどこんなに面白く便利なものがあることに気づき2000年に創業間もない楽天に転職しました。最初は楽天市場の営業として出店者への電話セールスを中心でしたが、楽天トラベルの立ち上げにあわせて異動となり、担当した施設の1つがヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルでした。その時にホテル側の担当者の方に誘われて、ホテル業界に転職しました。

石原 横浜で初めて体験したホテル業界、実際に働いてみていかがでしたか。

藤井 入社したのは2002年4月、ちょうど日韓共催ワールドカップで横浜が決勝の舞台となり盛り上がっていたころです。宿泊予約部門で

スタート、半年後にインターネット担当としてマーケティング部に異動しました。当時はまだインターネット経由の予約は少なく試行錯誤の連続でした。一度だけ桁をひとつ間違えて10,000円を1,000円で登録してしまい多数の予約が入ってしまうという失敗も経験しましたが、田中勝総支配人はじめ全社のバックアップもありいろいろなことにチャレンジできました。パシフィコ横浜が隣接していたこともあり、クラブワールドカップでのACミラン受け入れ、天皇陛下の御行幸などさまざまな接遇に関わることができ、良い経験となりました。その後マーケティング支配人を経て、初代レベニューマネージャーであった現マイステイズの岩見正一さんから業務を引き継ぎました。

石原 レベニューマネージャーとして気づけたことは何でしょうか。

藤井 現場経験がほとんどない立場であることから、数字で語ることを基本的に、説得力ある説明を意識しました。数字が苦手な人もいるので、分かりやすく説明して理解してもらうことを常に心掛けました。

石原 そこから順調にキャリアを積

み重ねてくれました。転職に際してのきっかけやポリシーを教えてください。

藤井 人との繋がりと、面白そうかどうかが判断基準です。2009年に楽天へ戻ることになるのですが、当時の同僚や上司からの誘いにくわえ、OTA側でレベニューマネジメントの理解を深め逆に施設側に広めていきたいというチャレンジに魅力を感じての転職でした。各システム会社との連携なども手掛けやりがいを感じていましたが、岩見さんから全国各エリアにレベニューマネージャーを配置する中で沖縄担当を探しているという話を聞き、縁もゆかりもない土地ではありますが大好きな沖縄で仕事ができるならと思いホテル業界に復帰しました。今回のオリオンホテルもそうですが、いまは沖縄にどのようにかわっていきけるか、ということが決断の大きな理由となっています。

悩んだら、自身が楽しいと 思うことをする

石原 チームワーク作りで大事にしていることはありますか。

藤井 ボトムアップとトップダウンの使い分けです。最終決断は経営側のタスクですが、スタッフの考えを吸い上げることも必ず意識し、最前線で接客しているスタッフの意見にも耳を傾けています。また判断する際のスピードも重視しています。無駄な時間をかけずに早めに決めること、もし間違っていたら直ぐに変える勇気も必要ですが、その決断のためにはやはり数字に基づいた説明が必須で、これがチームワークづくりに不可欠であると考えています。

石原 休日の過ごし方やストレス発



散法は。

藤井 走ることが好きで、沖縄にきてからマラソン大会にも参加するようになりました。ゴルフも沖縄にきてから始めましたが、もっと早く始めればよかったと後悔しています。ホテルに行くことも好きでリゾートならハレクラニ沖縄、シティならパレスホテル東京。バーに泊まるという弊社にコンセプトが近いBar Hotel 箱根香山が最近のお気に入りです。また週末に妻と美味しいものを食べることに、当ホテルのオリオンビアダイニングで飲むビールも大好きです。

石原 これからの若いホテリエ達に伝えたいことはありますか。

藤井 チャンスはたくさんあり、そ

れを選択するのは自分しかいません。僕みたいに転職ばかりの人生はあまりお勧めできませんが、悩んだら楽しそうな方へ！が良いとおもいます。

石原 最後に今後のビジョンを教えてください。

藤井 オリオンビールのホテル事業発展にしっかり貢献することです。現在は運営のトップを務めていますが、経営サイドの業務にも興味があります。そして将来リタイアした後は、沖縄で好きなこととしてのんびり暮らしたいですね。

石原 ありがとうございます。また沖縄にオリオンビールを飲みに来ますね！



株式会社ホスピタリティデザイン 横浜
代表取締役

石原 健

Profile > 桜美林大学経済学部卒業。日本ホテルスクール卒業。ホテル産業経営塾卒塾(第一期生)。ホテル センチュリー ハイアット勤務後、1989年、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルの開業準備室に第1期生として入社。国内外からのVIP対応等で、4度にわたる皇室接遇担当の栄誉も授かる。ウェスティンホテル仙台を経て、2014年、(株)ホスピタリティデザイン 横浜を設立し、代表取締役。厚生労働省事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会 会長、HSN 会顧問、産業能率大学兼任教員など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。

